

續孫栗毛士編

士下

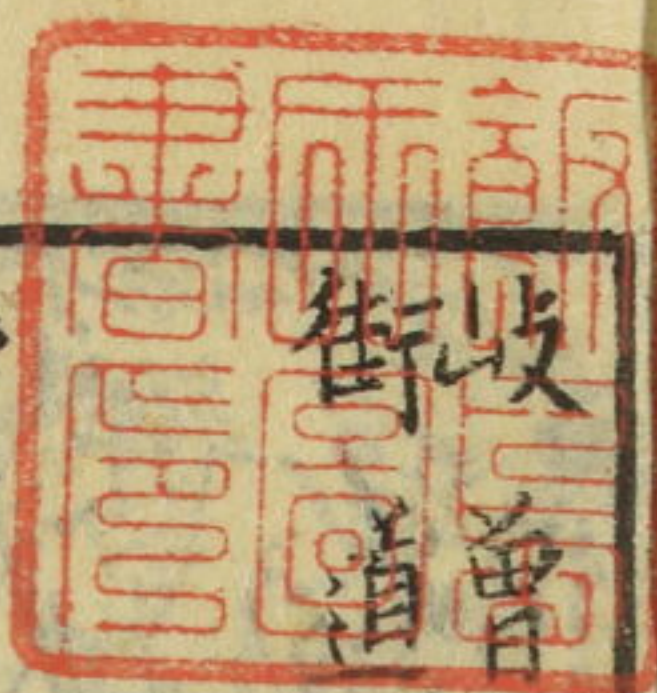
木曾川邊

七下
八上下

~ 13
3759
5



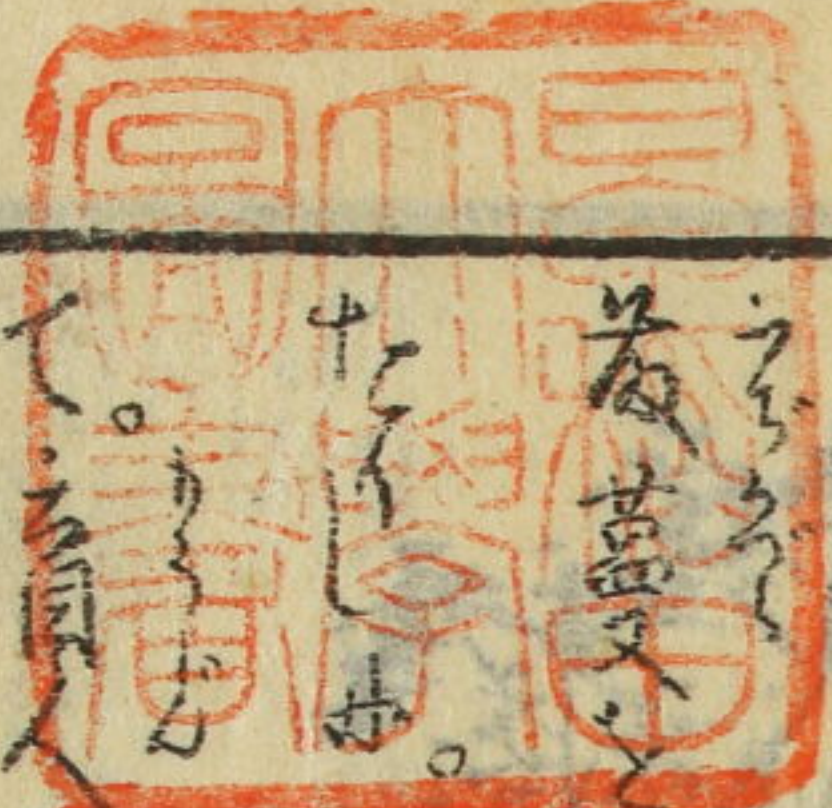
門 13
號 3759
卷 5



續 膝栗毛七編 下巻

東都 十返舎一九編

本番の棧うけをこしらへ編あひ尊上あひ松の間あひ申あひて。右をあひ高山あひつら
 ちうあひ。ひあひふらあひハあひ巖あひ石あひ表あひくあひてあひそあひをあひもあひちあひ。本番あひ川あひのあひちあひうあひせあひ
 さあひうあひすあひれあひ敷あひ丈あひのあひ登あひ原あひくあひ。支あひ岨あひよりあひかあひけあひらあひくあひまあひをあひ橋あひむあひりあひハ
 後あひ蓋あひ又あひくあひちあひひあひてあひ折あひとあひ。板あひとあひちあひうあひるあひてあひ後あひ身あひのあひ通あひりあひ
 中あひのあひしあひゆあひ。近あひはあひハあひ修あひ造あひしあひああひりあひてあひ。石あひをあひ敷あひきあひてあひ橋あひをあひ修あひすあひにあひ依あひ
 てあひ。負あひ人あひ少あひ見あひもあひ。やあひまあひくあひまあひをあひとあひしあひるあひ。ひあひくあひまあひああひりあひくあひ





石のまこと

ゆまゝ

本田の桂

むら

のこ

のこ

あ

石垣と

ま



うみあげ

あ

ゆけ

や

本田の

かけ

工

寺

白雪庵

け

まの

一

た

け

本田の

工

田

柳太

浄惠ちゆうりくし。ちゆうは繼^{ついで}に芭蕉^{ばせう}の碑^いあり。かげし
や命^{いのち}とわらむ身^みうらうと。彫^うつけあるをたてし

命^{いのち}ともかくみはけとる友^{とも}うづ

たうとぞけゆく 春^{はる}の雪^{ゆき}さ

かくらうまはらうつ。ちゆうも活^{やうい}生の^{なま}屋^や建^たつた^とらう。

此^{こゝ}とて又^{また}蘇^すもちの先^{まへ}ぶらう

さうらうびのあぶらうちあーの解^かを

諸^{しよ}人^{にん}ようちうらうせより判^{はん}

そとより後^{のち}傳^{でん}よらう。子^こは。御^ご閑^{かん}所^{じよ}あり。ちゆう

とて西^{にし}あるべ。ちゆうも小^{せう}橋^{はし}のうら。ちゆうまはらう

つらきまはらう後^{のち}人^{にん}ち。ちゆうまはらうトちゆうのちゆうはらう

ちゆうまはらうちゆうまはらう。ちゆうまはらう。ちゆうまはらう

日^ひ新^{にん}二人^{にに}は。ちゆうまはらう。ちゆうまはらう。ちゆうまはらう

てあふ。ちゆうまはらう。ちゆうまはらう。ちゆうまはらう

ちゆうまはらう。ちゆうまはらう。ちゆうまはらう。ちゆうまはらう

権^{けん}を中^{ちゆう}くちゆう。ちゆうまはらう。ちゆうまはらう。ちゆうまはらう



山

せうり

ちあき

はな

の

五十五
野

招友



新

よ

ら

里

の

ひくよ
比呂尼ごも。くーししあふ。いしいでくーししあそが。

まやくぬげさごト
あひのわのしきいんししあふ。いしいでくーししあそが。

あひのわのしきいんししあふ。いしいでくーししあそが。

本曾ぞのくさるうあひくゆんよとて

割くちうりいる 巴 山 火

とてしよりうらみのさしあふ。

何作のまの腰ふさくねども

ちくひまよやま 掃の 要名

けちやとあして。吉田村大木坂ふさくか。いしいでくーししあそが。

数のはと高ぶあかやーししあふ。いしいでくーししあそが。

其。積の後ごりう。正其の徳の擧げ。りう中ーあひくゆん。

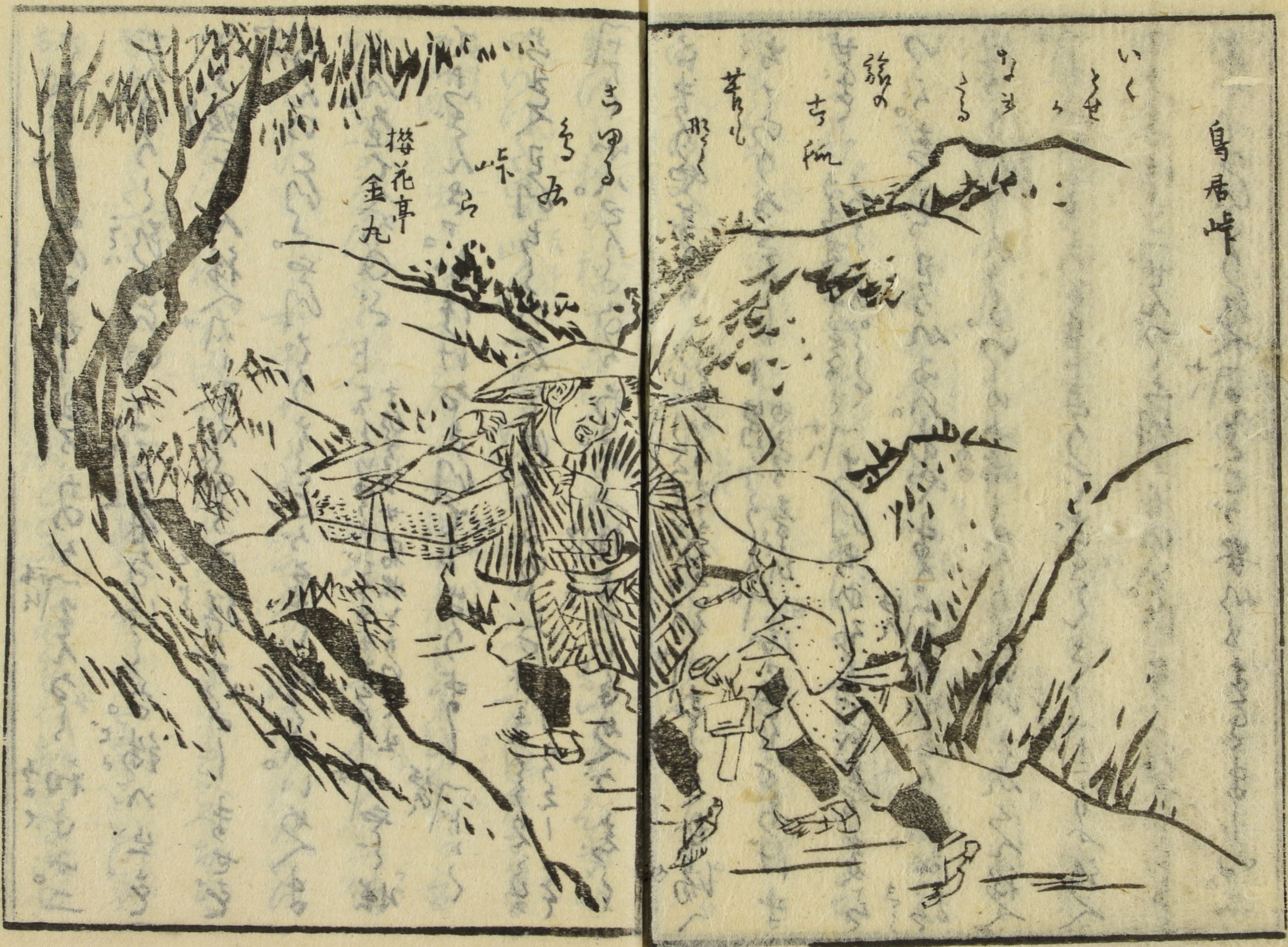
延びさん。はらあふ。いしいでくーししあそが。

とく公持ご。まふ。いしいでくーししあそが。

りーろくも後入。モ。いしいでくーししあそが。

ていしいでくーししあふ。いしいでくーししあそが。

ななかのらんごらう。いしいでくーししあそが。



鳥居峠

いく

うせ

なま

る

詠の

古風

昔心

形

ま甲

ま

峠

梅花亭
金丸

おどろき... おどろき ... おどろき ... おどろき ...

おどろき... おどろき ... おどろき ... おどろき ...

おどろき... おどろき ... おどろき ... おどろき ...

おどろき... おどろき ... おどろき ... おどろき ...

おどろき... おどろき ... おどろき ... おどろき ...

おどろき... おどろき ... おどろき ... おどろき ...

おどろき... おどろき ... おどろき ... おどろき ...

おどろき... おどろき ... おどろき ... おどろき ...

おどろき... おどろき ... おどろき ... おどろき ...

おどろき... おどろき ... おどろき ... おどろき ...

も。おのちくもいづちおせん。イヤ時うめづしひらうとある。

こゝまゐる。のうらうらど

此道をも。お寺とらふ寺とありやまをその位持入

日一が國力のぞ。をやまへしく。わりのいづ。さひきはうひの

わのとや。今にお寺が来て今お寺入

とらひきまを。ゆもゆまへ移入。麻のおくをまをまうせ

やうといふ。コリヤヤ。おづじひ。はぶぞ。麻のまをまをまを

後う。いづ。結末しとや。さ。さ。さ。風流

人の侍者ど。お寺まよ。お寺ま。そのま入のりて

そ。お寺ま。お寺ま。お寺ま。お寺ま

お寺ま。お寺ま。お寺ま。お寺ま

お寺ま。お寺ま。お寺ま。お寺ま

お寺ま。お寺ま。お寺ま。お寺ま

お寺ま。お寺ま。お寺ま。お寺ま

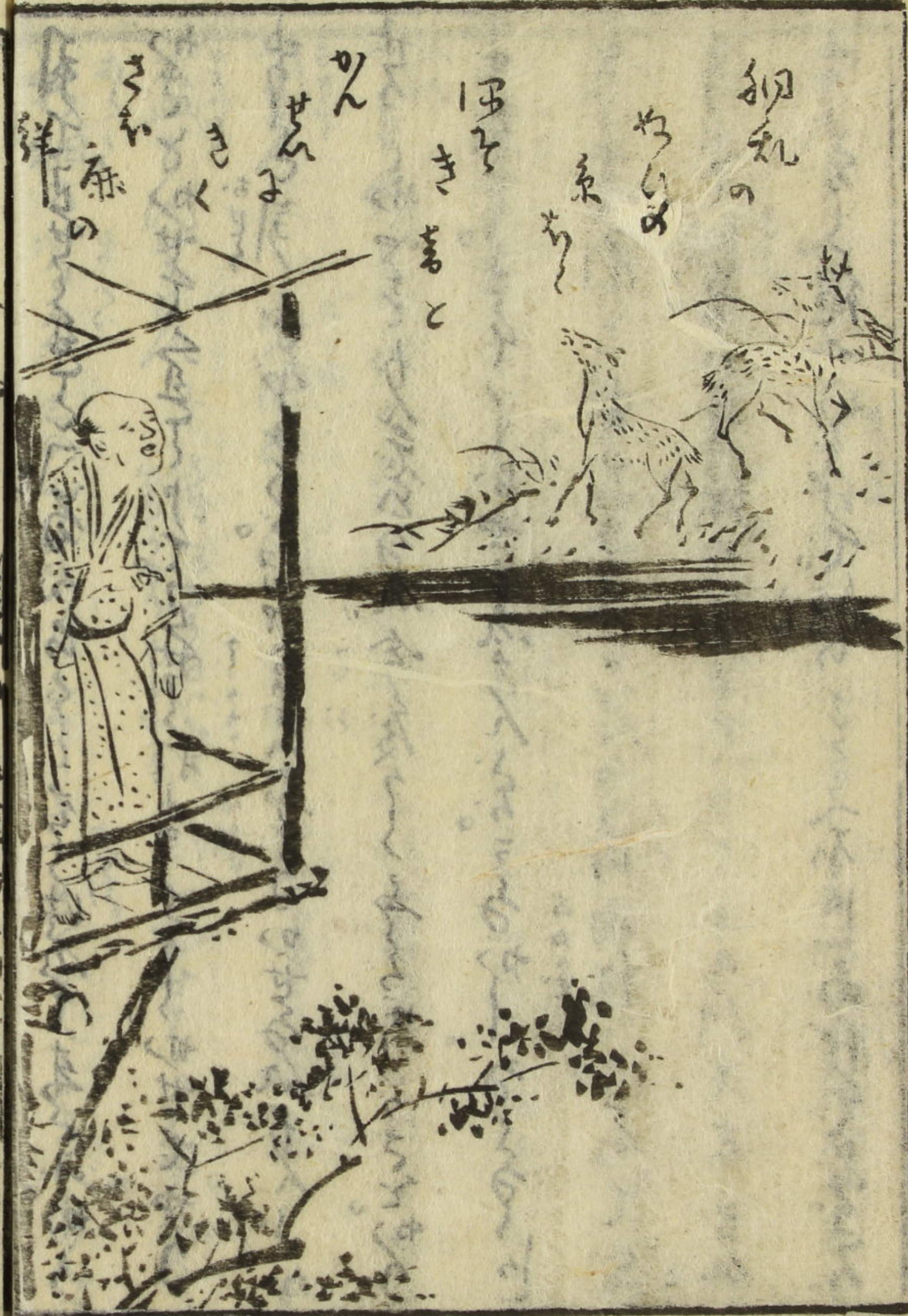
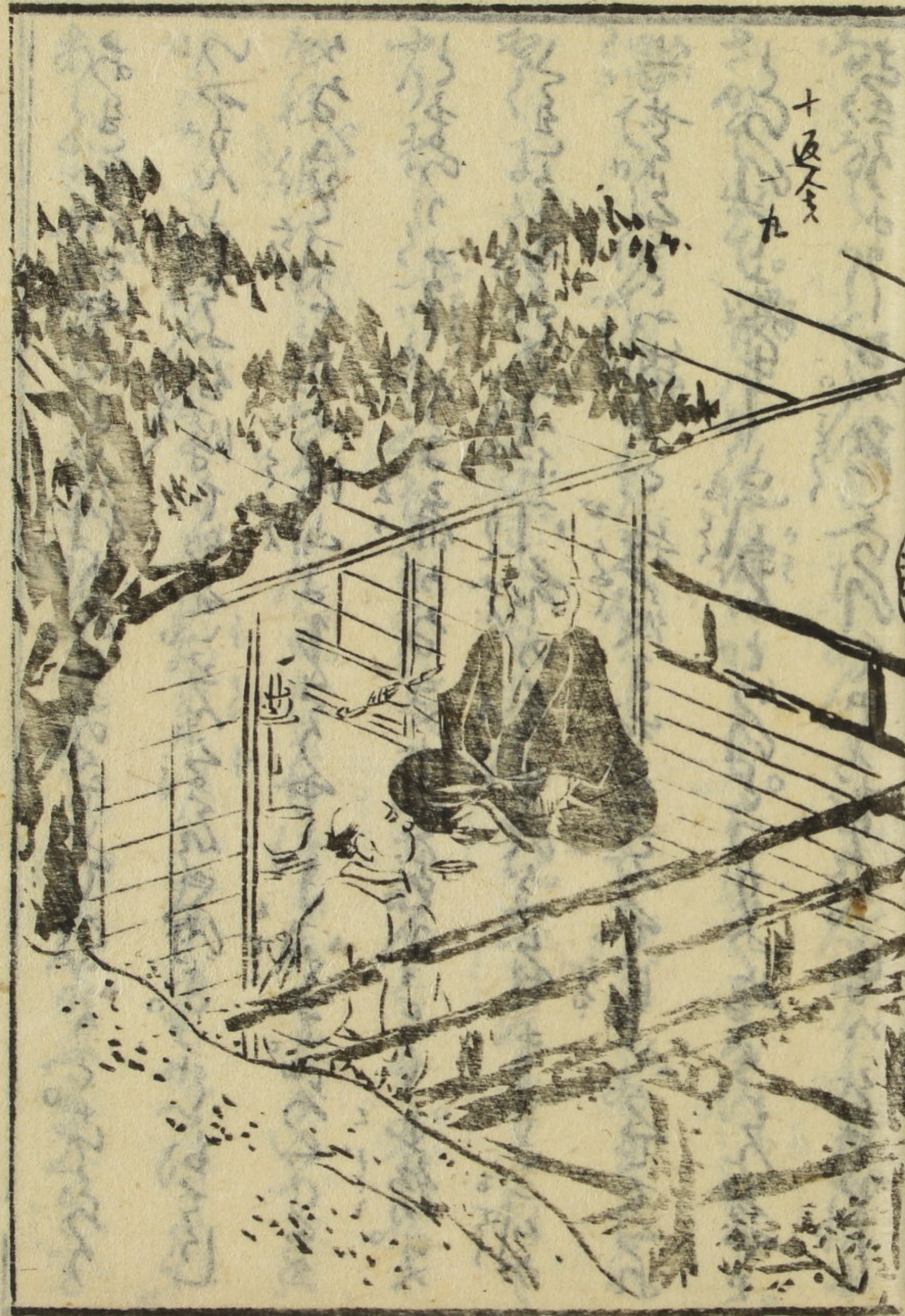
お寺ま。お寺ま。お寺ま。お寺ま

お寺ま。お寺ま。お寺ま。お寺ま

お寺ま。お寺ま。お寺ま。お寺ま

どんぐりやーが口金でもちぢみさう縁はしはぶぢみいで
 ぢぢぢ。秋あきさくものど。今いま改かへて園きんせりまが。由よしちそうで
 ぢぢぢ。コリヤア 卯うあまぢぢぢ。ぬいあせつづがあのし。ある。糸いと
 日ひ限かぎつて。そこがあ妙まう。毎まい夜よ白しろのさりであつままま
ハ何なにようのち者ものよをあくうけるう。えんのど
おせうあまぐく。由よし酒さけひのあげませぢぢ。うちくく。西にしをく。あま
さま盆ぼんのどえんトーは内海うみのあまりくく。月つきのあせうさも。只ただ今いま
あ秋あき畑はたけのあるまどのがまつつすう。こちへんくくようあまのど

利きでこせしているがあくくくはひてあいふ。かく
 かきとかせてくまてて。せしれまうう。あせてやり
おせうあまぐく。由よし酒さけひのあげませぢぢ。うちくく。西にしをく。あま
さま盆ぼんのどえんトーは内海うみのあまりくく。月つきのあせうさも。只ただ今いま
あ秋あき畑はたけのあるまどのがまつつすう。こちへんくくようあまのど



おぼろやま。時子出酒も大さなわんが舞くわん

あやしく時分で。さざりやまを孫お孫にまらりまらり

いのちを待まちておぼろつ足す。今はおぼろを待

トのひつにおせうのうてゆきなが。あざしくまらり。あやののひつ

あやうのひつ。あやうのひつ。あやうのひつ。あやうのひつ。あやうのひつ。

あやうのひつ。あやうのひつ。あやうのひつ。あやうのひつ。あやうのひつ。

あやうのひつ。あやうのひつ。あやうのひつ。あやうのひつ。あやうのひつ。

あやうのひつ。あやうのひつ。あやうのひつ。あやうのひつ。あやうのひつ。

あやうのひつ。あやうのひつ。あやうのひつ。あやうのひつ。あやうのひつ。

あやうのひつ。あやうのひつ。あやうのひつ。あやうのひつ。あやうのひつ。

あやうのひつ。あやうのひつ。あやうのひつ。あやうのひつ。あやうのひつ。

あやうのひつ。あやうのひつ。あやうのひつ。あやうのひつ。あやうのひつ。

あやうのひつ。あやうのひつ。あやうのひつ。あやうのひつ。あやうのひつ。

あやうのひつ。あやうのひつ。あやうのひつ。あやうのひつ。あやうのひつ。

あやうのひつ。あやうのひつ。あやうのひつ。あやうのひつ。あやうのひつ。



昔昔舎
一石

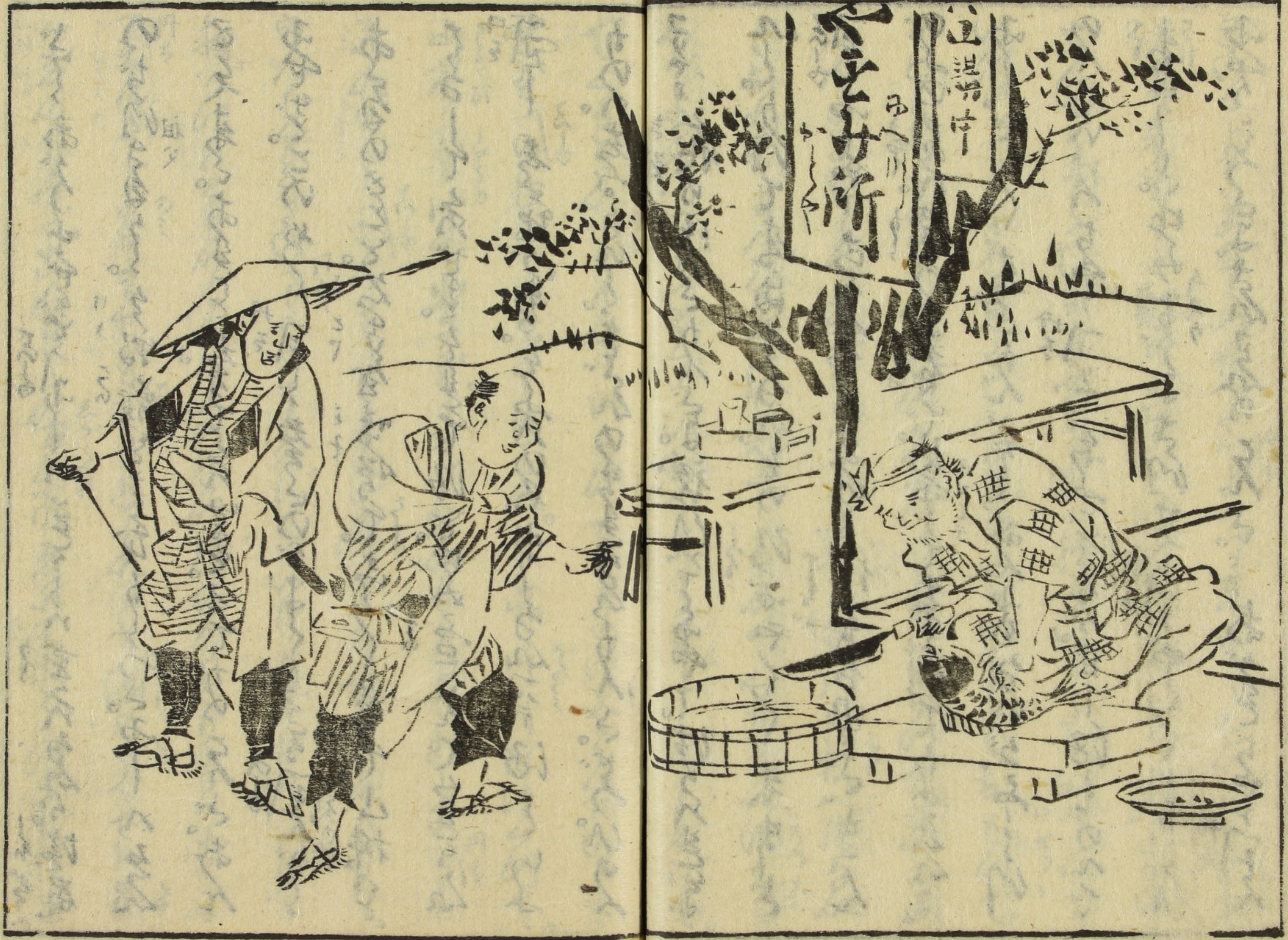
喧嘩
あ
上
台


生
研
の
癪
か
の
こ
ろ

あつらふ。あまのまをいせりまをいせり。ゆるりもをよ
まをせざりしよ。かまをいせり。ゆるりもをいせり。ゆるりもをいせり。
まをいせり。ゆるりもをいせり。ゆるりもをいせり。ゆるりもをいせり。
あ。ゆるりもをいせり。ゆるりもをいせり。ゆるりもをいせり。ゆるりもをいせり。

金切りてあつらふ。ゆるりもをいせり。ゆるりもをいせり。
あ。ゆるりもをいせり。ゆるりもをいせり。ゆるりもをいせり。ゆるりもをいせり。
あ。ゆるりもをいせり。ゆるりもをいせり。ゆるりもをいせり。ゆるりもをいせり。

あ。ゆるりもをいせり。ゆるりもをいせり。ゆるりもをいせり。ゆるりもをいせり。
あ。ゆるりもをいせり。ゆるりもをいせり。ゆるりもをいせり。ゆるりもをいせり。
あ。ゆるりもをいせり。ゆるりもをいせり。ゆるりもをいせり。ゆるりもをいせり。
あ。ゆるりもをいせり。ゆるりもをいせり。ゆるりもをいせり。ゆるりもをいせり。



早の甥でござる。中まが。川のせもくちまはら
て。かひとろむらきとこが多そりんごう。こしとくち
まはら。張をきし。あんとあうを。コソおま
中とく。あんまうおり。かひとろ。はらとくちまはら
うくく。きんてお中。そのまう。おげとくちまはら
まうのひ。おお侍とく。ごまう。後がたのひとくちまはら
そくして。中食よ。まう。ト。あうとくちまはら


續 藤栗毛ハ編序

類 河の湖は志げの舟。風越の山嶺はと

まうとく。次。流来の旅人の命とかけ舟。

首のあつくと詠。と昔うて。持も今うそ

つとほり。難。形く。旅六。様。の。葉。と。く。の

ゆえ。熊の。狼の。ひる。子。作。ふ。本。曾。は。の



振ふるひのは井ぎのめのきあまるふの子の傳ひめく福ゆか
 首くびのき可あ雁かり凡かんしは移りと侍に沐生いの
 茶ち店やの歎嗟い身みと松子こと糸一い糸そハ
 金かね儲もちの益販はんどり能た麻ま川がはの茶漬づけ丹に
 腹はらと太やーもののさはるどの山やまと侍
 預よらの松まつの恥とかはた敷しき釘くぎのしるめふ
 花はな書がきの園以もゆら一く一とせし針はり
 道みち子こ教といまて洗馬ばの驛どい善と火ある
 丹にと敷丹に松まつ太た糸い魚いわ川がは街まちるら子こ
 出い栗くり尾お松まつ宮みや宇う津つちとる靈場ばうとる
 綿い子こ何なに山やま子こと一其その道みちと流山やま川がはの相
 乃な士し人ひとのいと糸一い糸そ維いちとる一糸その一事こと

依つく書かきしらふ。袖そでみかきるかき後のちをしらふと。
 其そののつら子こ編あひらのおも趣おも向むかふふ。例れいは
 我われをしままとしはく矣や申まをしる志こころのむ

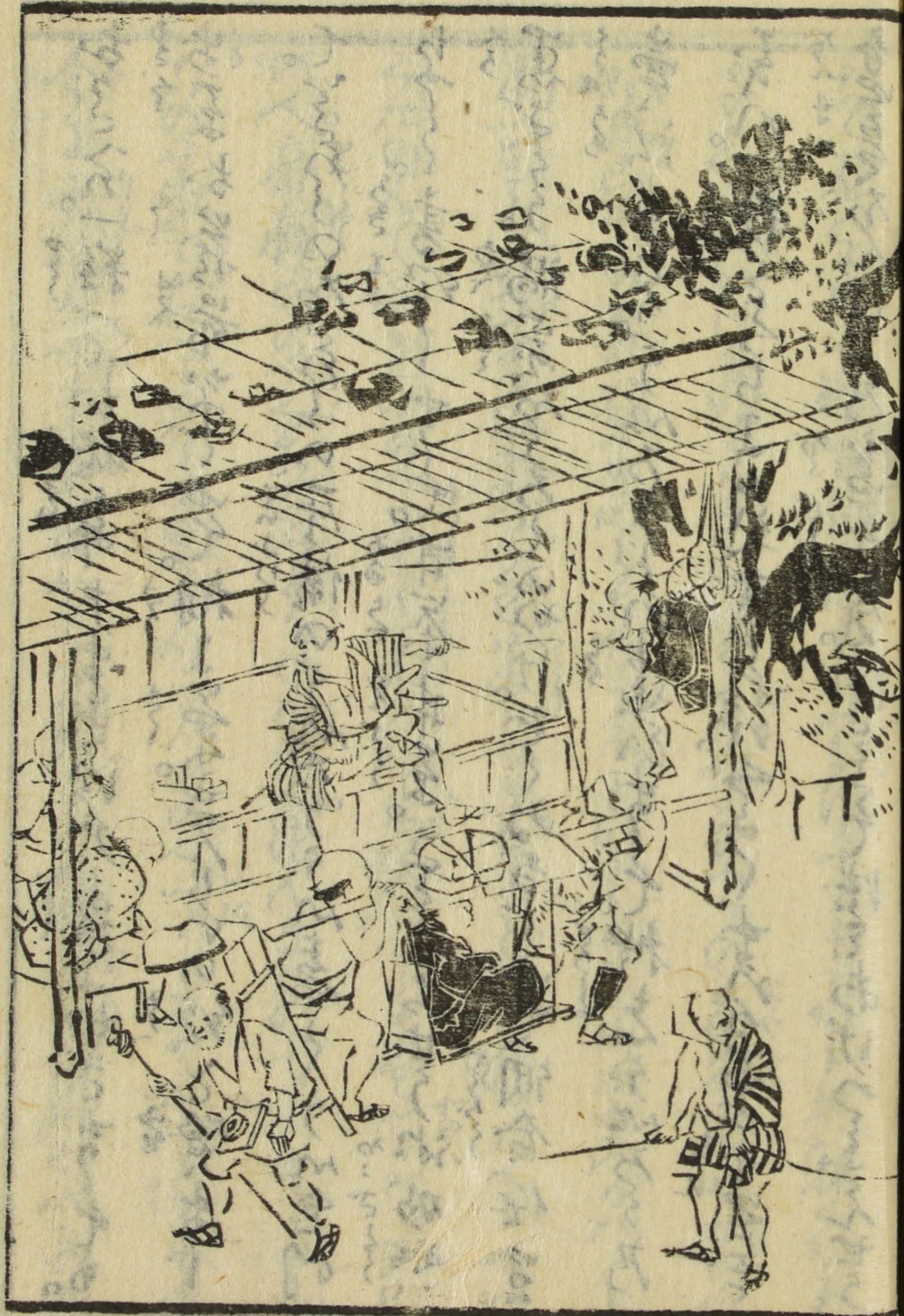
文化丙子春 十返舎一九識



後本曾路續膝栗毛八編 上卷

東都 十返舎一九編

本き言こと活かつつといい不ふ止と高たかくく連つ五ご溪せき幽ゆうみみははりりてて毎まい日にち一いち糸いと
 振ふるちちはは。性しやう来らいのの眼めみみ渡わたるるここももああるる後のちのの力ちからも
 むむらられれははくくてて。ささおおががらら異い國こくののややららははおおししひひををききてて。ささらら
 らら昔むかしのの姨いへ控かへへへ山やまもも。今いま八はち月げつのの夜よにに而してななりりてて。膝ひざ栗ぐり毛け
 床とこ下したのの侍ざむらいももららををききてて。相あ手て屋や月つきのの物ものもも助すけ々々とと効きひひをを
 獲とくくのの祖そ母ぼ。ささ女をのの化か粧ざうををもも。後のちにに路ちよくくははりり



おのりから 春の夜
うし 家 1

新編 浮城物語

おのり

本曾山の 月

奥白川
白鶴房

目とあせまうらうせいの入はくさんぐんぐん。あまの目が

ちかぢや〜ヤアぐん。トウおげまがぢまをアイト〜ツリヤツギ

のちをあるもの。目のまのハチウ。ままめめがくららの

まのまごしめ目のまのるくまうとまうまらて。まんま

のまもともんであらう。まのまをぶつ〜アハ中や作ぬ。こじり

目とあせまうらうせいの入はくさんぐんぐん。あまの目が

ちかぢや〜ヤアぐん。トウおげまがぢまをアイト〜ツリヤツギ

のちをあるもの。目のまのハチウ。ままめめがくららの

まのまごしめ目のまのるくまうとまうまらて。まんま

のまもともんであらう。まのまをぶつ〜アハ中や作ぬ。こじり

目とあせまうらうせいの入はくさんぐんぐん。あまの目が

ちかぢや〜ヤアぐん。トウおげまがぢまをアイト〜ツリヤツギ

のちをあるもの。目のまのハチウ。ままめめがくららの

まのまごしめ目のまのるくまうとまうまらて。まんま

のまもともんであらう。まのまをぶつ〜アハ中や作ぬ。こじり

目とあせまうらうせいの入はくさんぐんぐん。あまの目が

ちかぢや〜ヤアぐん。トウおげまがぢまをアイト〜ツリヤツギ

青殿の虎の威とかるくままともや

千里の糸一ひく 白紙

かして交をばまじら。まじくもは馬の寄小使くちかまきの

かきつゆが「体んでお出なまえん。昔まのお考つけがぶらり

まきまおの忠告のみまじらうますいん「はねん。なまらふ

の川てくまじのそ入はな「おまもるるの是かしくな。またの

まのくまじ。くくでのせらか「む井中。三百首したのそ

あふあふ「こままあるむらはな「ひる卒でや。後くあて「お

「お持かき「まじく来ぬのちやアはな「お持あて「お入る人々

「お入あて「お入る人々。まじくハす陸は坊々。まじり大

田。その相持あて「お入あて「お入る人々。まじり大

お入あて「お入る人々。まじり大

「お入あて「お入る人々。まじり大

「お入あて「お入る人々。まじり大

「お入あて「お入る人々。まじり大

「お入あて「お入る人々。まじり大

「お入あて「お入る人々。まじり大



奥三本松
森積亭
深道

生身

本石
石物
古
本
古
本

御
石



桂元舎

下毛
中坊主



下毛
中坊主
身長の
一
三
子
子
子

くくせうこころ ト ちもきり はな ちもきり はな ちもきり はな ちもきり はな ちもきり はな

おおいえやせ入 コ のちも はな ちも はな ちも はな ちも はな ちも はな

のり コ ちも はな ちも はな ちも はな ちも はな ちも はな

す コ ちも はな ちも はな ちも はな ちも はな ちも はな

ちも はな ちも はな ちも はな ちも はな ちも はな ちも はな

ちも はな ちも はな ちも はな ちも はな ちも はな ちも はな

ちも はな ちも はな ちも はな ちも はな ちも はな ちも はな

ちも はな ちも はな ちも はな ちも はな ちも はな ちも はな

ちも はな ちも はな ちも はな ちも はな ちも はな ちも はな

ちも はな ちも はな ちも はな ちも はな ちも はな ちも はな

ちも はな ちも はな ちも はな ちも はな ちも はな ちも はな

ちも はな ちも はな ちも はな ちも はな ちも はな ちも はな

ちも はな ちも はな ちも はな ちも はな ちも はな ちも はな

ちも はな ちも はな ちも はな ちも はな ちも はな ちも はな

ちも はな ちも はな ちも はな ちも はな ちも はな ちも はな

あぢぢらふもまけごもとまけるもあんだん唯の脱化ニア人

秘へらあんまり足らふ心秘へるもあつめ入るやア秘へる

秘へるあんまり足らふ心秘へるもあつめ入るやア秘へる

お目ハ後老ご各吉登て取らぬまごのやんさ出えち入抱し

このちうんの。老やなうらうらうのちうんあつめ入るやんさ

なることあせまご一うらうあつめ入るやんさ

秘へるあんまり足らふ心秘へるもあつめ入るやんさ

秘へるあんまり足らふ心秘へるもあつめ入るやんさ

トまける一の金持のあつめ入るやんさ

何事も堪忍も古さ一三三

取歩もさうさうさうさうさ

かくとみく大まじりちうらう。あつめ入るやんさ

あつめ入るやんさ

あつめ入るやんさ

あつめ入るやんさ

あつめ入るやんさ

朝とあはれ。性身しんしんは小娘こむすめのひらり。とて聞あめをなほ
りうりうのうらみもやと
いふ

ちを身みにあはれさんし。サお茶おげませどほけア、まへまて中ちゆうりく

中ちゆうりくは、こもこもおまひがけも移入うつりいれめふあつと。トは内うちは茶ちやの
のりか

を世よはれ母ははと一ひと七しちあちうとがアおちちまれむら。今いま村舟むらふねの
うけておちうらぐ

茶ちやをなほ。積つみ役やく者が重おもいゆも。りまらぬとちうりして。
まよ

らんごくとあつと申まをす。が、まよらうの入いれ申まをすもまよらうの
ゆ

申まをす。あどの役やく者ものが重おもいゆむら。なせぬらも
あ

かもとおまあしとてとまよらうむら。らうらうとあせらうの
あ

後のちは、りくしん中ちゆうで、まよらうのまよらう。そのはれあはれ
は

らうとまよらう。まよらうあつとまよらう申まをす。のりのりまよらう
は

まよらう男おとこさ。ひらりの若わからうのまよらう。まよらうでもまよらうが。
は

まよらうまよらうのまよらう。まよらうのまよらう。白しろ井いのまよらう
は

男おとこ。まよらうがまよらう。あつと男おとこはまよらうまよらうのまよらう
は

まよらうまよらう。まよらうのまよらう。まよらうのまよらう。まよらう
は

まよらう。まよらうのまよらう。まよらうのまよらう。まよらうのまよらう
は

あついでうあついでつむつむ井いのの室むろ深ふかハハあありりううららのの入いりりをを後ご考こうの
ここのの入いりりをを後ご考こうのの入いりりをを後ご考こうのの入いりりをを後ご考こうの
後ご考こうのの入いりりをを後ご考こうのの入いりりをを後ご考こうのの入いりりをを後ご考こうの
体ていんでんでああるるひひららのの入いりりをを後ご考こうのの入いりりをを後ご考こうの
るる。後ご考こうのの入いりりをを後ご考こうのの入いりりをを後ご考こうのの入いりりをを後ご考こうの
りりおおせせのの入いりりをを後ご考こうのの入いりりをを後ご考こうのの入いりりをを後ご考こうの
ははららのの入いりりをを後ご考こうのの入いりりをを後ご考こうのの入いりりをを後ご考こうの
つつままににああるる。右みぎのの所ところににああるる。

ままににああるる。右みぎのの所ところににああるる。
志しのの入いりりをを後ご考こうのの入いりりをを後ご考こうのの入いりりをを後ご考こうの
比ひ田だ大だい河がとといいくくのの馬うまももああるる。今いまは
大だい分ぶんがが此こゝををとといいくくのの馬うまももああるる。今いまは
松まつ尾おのの親おやももああるる。松まつ尾おのの親おやももああるる。今いまは
道みちににああるる。右みぎのの所ところににああるる。
んんややせせううのの入いりりをを後ご考こうのの入いりりをを後ご考こうのの入いりりをを後ご考こうの



平瀬村

江戸口

去る所

子と係

おアと

お前の話

お田舎者

おのれ

おのれ

おのれ

おのれ

おのれ

おのれ

おのれ



栗尾山

男森松

自主庵

天久

此書のいゝやまを福や

せん人わいの

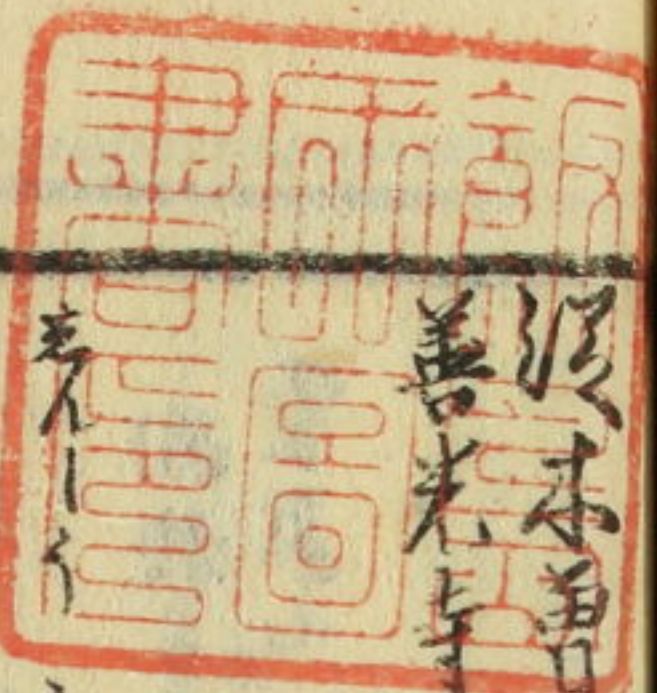
ちのあしー丹

老きむく申のこらぬをうごよ。アお寺でん人づまる福が
 殊ぜよよらうむ。その殊よあらうとらゆ病人をよくとる
 医老きむくう。款きまがはまのまがむよ。かひせあてう。
 福んどるるとらひあたるハ。ひもを寝こむを医せたるなげ
 かてうのこめゆ。福かのゆーのた。おめいのかいてい
 てもく。そめんで日一。自慢トあるどやアなが。この
 寺ぐらんしりも。かちかちのいも。まじりしる
 まじりあくちりしどやアまじりあくちりしり。い
 うちりあくちりしり。

此の書は...
つる名は...

此の書は...
名は...

信列 栗尾山満願寺 八編 下巻



東都 十返入吉一九編

信列 栗尾山満願寺 八編 下巻

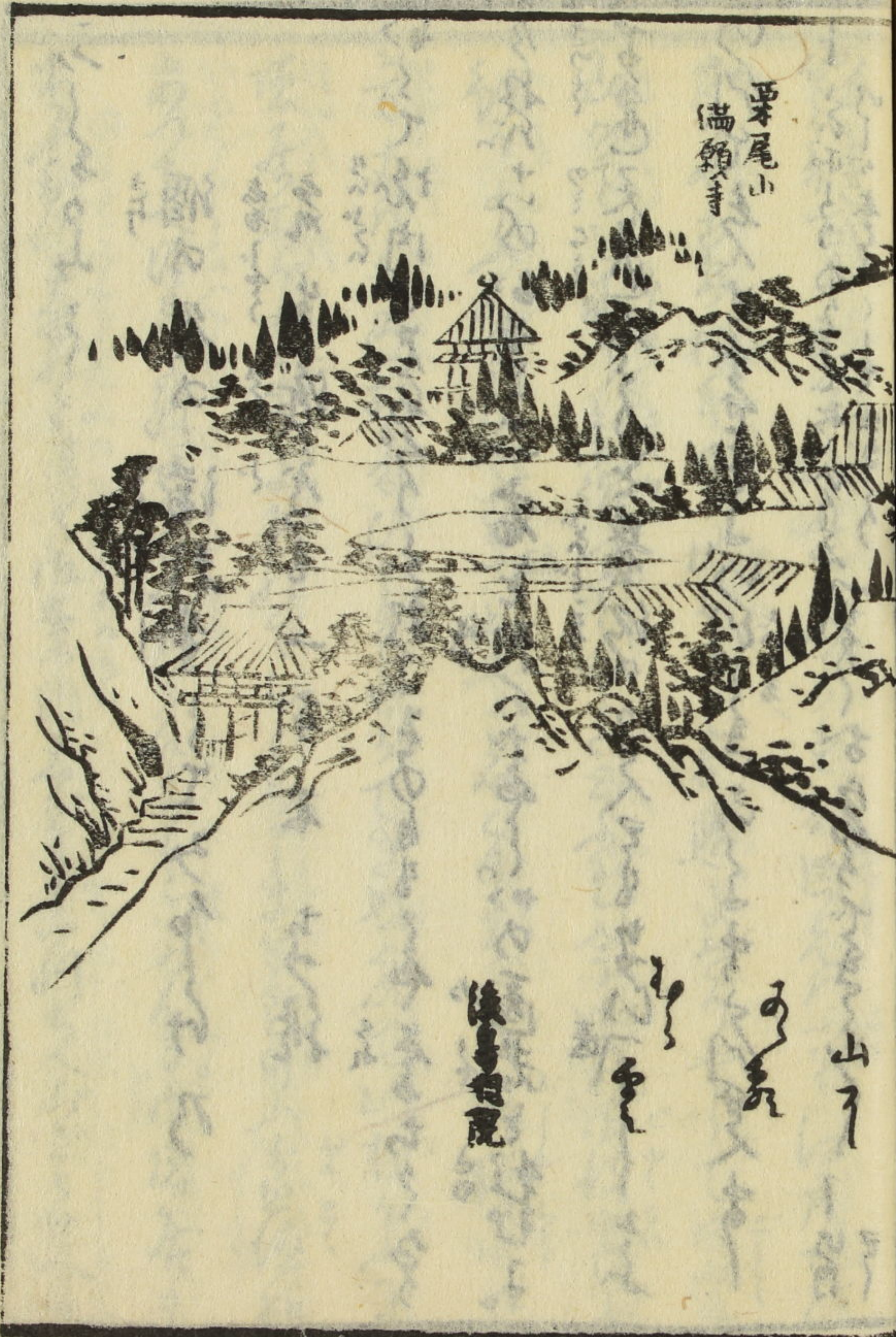
一... 観音... 十一

堂... 十六... 十一

画... 十八... 十一

て... 山門... 十一

岩... 十一



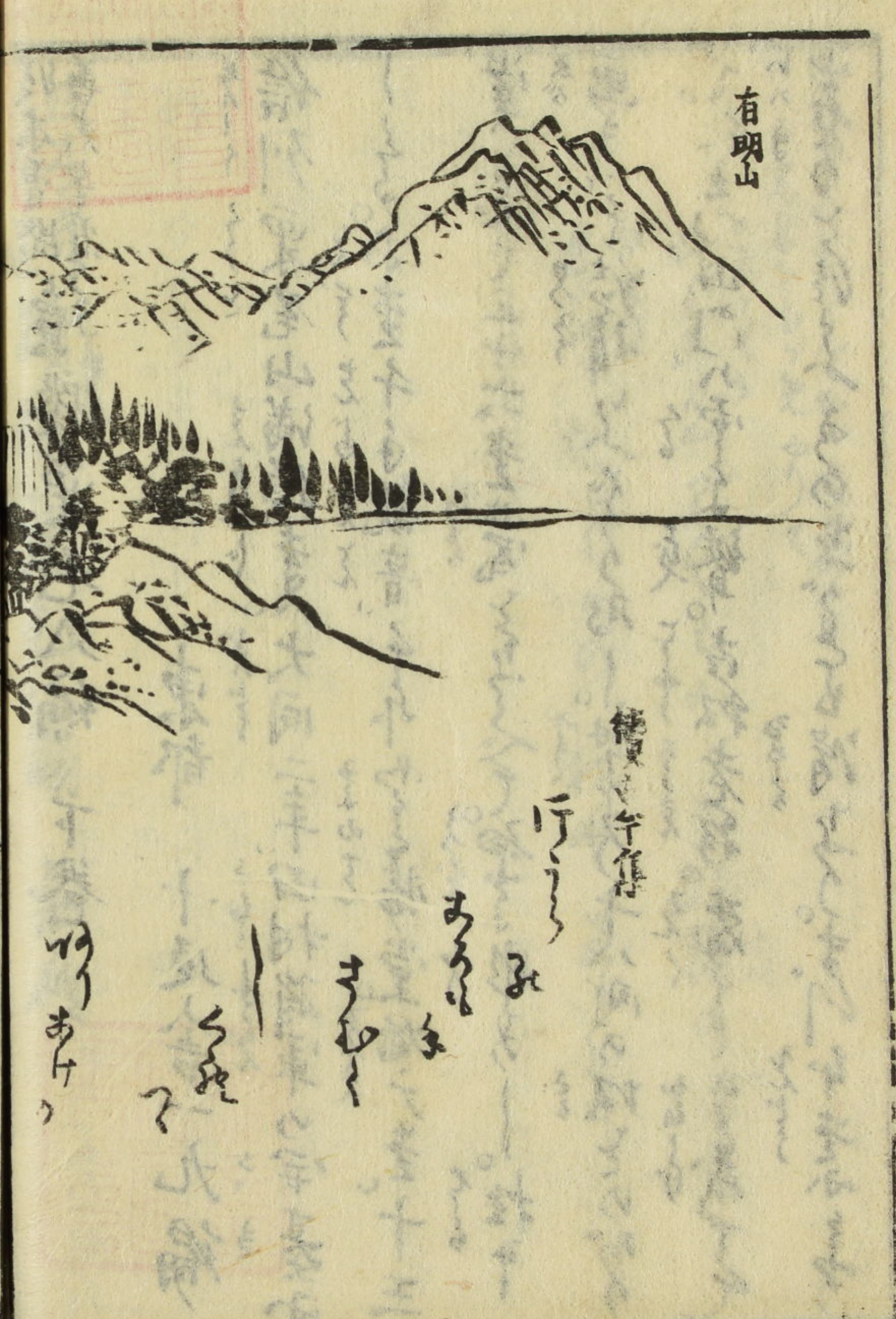
栗尾山
満願寺

狭き相見

し
も

の
あ

山
う



有明山

徳
子
傳

行
子

子

あ
ま

ま
む

く
は

あ
け

あ
け

かしまりみく

酒の谷の まが 満都寺とてみるけ乃

あま 生流 あま も一本 あま 本 あま ちう流

かくて境内と見えたりと云ふ。その日もや春あくる

乃れバ、そのお寺は一宿を あま ねた あま ちう流 あま 本 あま ちう流

と云ふ。天也、と云ふと、春のくく入るも、あま あま ちう流 あま 本 あま ちう流

のりて、あま あま ちう流 あま 本 あま ちう流

ト云ふ。あま あま ちう流 あま 本 あま ちう流

あま あま ちう流 あま 本 あま ちう流

あま あま ちう流 あま 本 あま ちう流

あま あま ちう流 あま 本 あま ちう流

あま あま ちう流 あま 本 あま ちう流

あま あま ちう流 あま 本 あま ちう流

あま あま ちう流 あま 本 あま ちう流

あま あま ちう流 あま 本 あま ちう流

あま あま ちう流 あま 本 あま ちう流

たゞぞうせいで。くまきりせすまうかまきり。かきやく。ゆり

くまきりせすまうトあまきりしてかんくんとおるひかたゆく。

まきりせすまう男もせんをもちまうをさるといふまじも

あまきりせすまうコリヤ幕末でまきりせすまう。今

あまきりせすまうコリヤあまきりせすまう。あまきりせすまう。あまきりせすまう。

あまきりせすまうコリヤあまきりせすまう。あまきりせすまう。あまきりせすまう。

あまきりせすまうコリヤあまきりせすまう。あまきりせすまう。あまきりせすまう。

あまきりせすまうコリヤあまきりせすまう。あまきりせすまう。あまきりせすまう。

あまきりせすまうコリヤあまきりせすまう。あまきりせすまう。あまきりせすまう。

あまきりせすまうコリヤあまきりせすまう。あまきりせすまう。あまきりせすまう。

あまきりせすまうコリヤあまきりせすまう。あまきりせすまう。あまきりせすまう。

あまきりせすまうコリヤあまきりせすまう。あまきりせすまう。あまきりせすまう。

あまきりせすまうコリヤあまきりせすまう。あまきりせすまう。あまきりせすまう。

あまきりせすまうコリヤあまきりせすまう。あまきりせすまう。あまきりせすまう。

あまきりせすまうコリヤあまきりせすまう。あまきりせすまう。あまきりせすまう。

あまきりせすまうコリヤあまきりせすまう。あまきりせすまう。あまきりせすまう。

あまきりせすまうコリヤあまきりせすまう。あまきりせすまう。あまきりせすまう。

あまきりせすまうコリヤあまきりせすまう。あまきりせすまう。あまきりせすまう。

あまきりせすまうコリヤあまきりせすまう。あまきりせすまう。あまきりせすまう。

あまきりせすまうコリヤあまきりせすまう。あまきりせすまう。あまきりせすまう。



寐

と

よめ

み

信陽
梅友

山等の

竹

う

ね

の

ひ

の

十返舎

解^{カキ}らる。コヤめのそばかびである^{ハバ}けんまよものゝるやど

かびとやの^{ハバ}けんまよとあかめが^{ハバ}あまもかろうなれう人

けんまよ^{ハバ}けんまよとあまめとあまのけんまよのけんまよ^{ハバ}

やううか^{ヤク}と^{ハバ}けんまよとあまめとあまのけんまよ^{ハバ}

花^ハと出うけやう。店^{ハバ}よけんまよのけんまよ^{ハバ}

あ。ちよのとあまめとあまのけんまよ^{ハバ}けんまよとあまのけんまよ

けんまよけんまよけんまよけんまよけんまよけんまよけんまよけんまよ

けんまよけんまよけんまよけんまよけんまよけんまよけんまよけんまよ

けんまよけんまよけんまよけんまよけんまよけんまよけんまよけんまよ

けんまよけんまよけんまよけんまよけんまよけんまよけんまよけんまよ

けんまよけんまよけんまよけんまよけんまよけんまよけんまよけんまよ

けんまよけんまよけんまよけんまよけんまよけんまよけんまよけんまよ

けんまよけんまよけんまよけんまよけんまよけんまよけんまよけんまよ

けんまよけんまよけんまよけんまよけんまよけんまよけんまよけんまよ

けんまよけんまよけんまよけんまよけんまよけんまよけんまよけんまよ

控申し移入。そのせり入湯がし。小膳さん。茶を入きて
えんせ入がひヤリいがある。さのき原なきむ。ごしゆくおん
ちろがある。つひるさのとやア移入小膳ういまんぢういんどハ納戸の
おし入きもあるがの。まねまんぢういてくやくをきまあは
ままどげる西。原なきむがおお入い。うせあへておりのて
ご入いこのご。毒があつていつのろ。移入いうろ。まへりて
おてえんせあつせ入い。ト申さうとあいういとては。ハドいりや
おしいやが。ぢういこいろいりいてくろ。ハドいりや
こしいれが毒味とまゆい。アいういくい。ハドいりいとんいでも。まいつい、
かいろいんいハい毒もあいんいあいも移入い。小膳さん。サいるいせ入
あいるいよいえいとあいるいの。と。ちいれいとをいういをいついといついてあいれ
るいりいの。時いはい茶碗いがいゆいんい。イヤいないあいるいぞい。トあいういはいあいるい。
といついついていアいらんいのいちい。ハドいりいといのい茶碗いハいまいるいせ入い。原いなき
まいるいがい大い車いのいちいやいえいんいてい。まいれいちいろいのいをいまいんいせいまいせいといト
おいのいちいやいらんいどいやいらい。まいるいやいちいやいといむいばいういちい。ハドいりいヤいアいくい大い車いまいるいあいといぶ。
ういまいくいといぢいういなどのいまいんいぢいういとい大いさいよいらいていまいるいハドいりいヤいアいくい大い車いまいるいあいといぶ。
ツイいういかいくいとい。まいんいぢいういがいまいれいといハドいりいハいついあいついといハドいりいまいるいあいといぶい。
りいひいらいぶいくいのいていかいづいのいやいらい。ハドいりい小い膳いさんい。まいるいハい移い入いさんい。あいまいと

がひと。さういふおつてまふびらうあ。二人無茶をあの後け

よふ。サアあるせん。そのおつて。志んくく。おつておつておつて

トおんちうのこゝろをためてままやく。おつておつておつて

おんちうを。えんるうめておつて。うう。おつておつておつて

おつて。おつて。おつて。おつて。おつて。おつて。おつて。おつて

おつて。おつて。おつて。おつて。おつて。おつて。おつて。おつて

おつて。おつて。おつて。おつて。おつて。おつて。おつて。おつて

おつて。おつて。おつて。おつて。おつて。おつて。おつて。おつて

おつて。おつて。おつて。おつて。おつて。おつて。おつて。おつて

おつて。おつて。おつて。おつて。おつて。おつて。おつて。おつて

おつて。おつて。おつて。おつて。おつて。おつて。おつて。おつて

おつて。おつて。おつて。おつて。おつて。おつて。おつて。おつて

おつて。おつて。おつて。おつて。おつて。おつて。おつて。おつて

おつて。おつて。おつて。おつて。おつて。おつて。おつて。おつて

おつて。おつて。おつて。おつて。おつて。おつて。おつて。おつて

おつて。おつて。おつて。おつて。おつて。おつて。おつて。おつて

おつて。おつて。おつて。おつて。おつて。おつて。おつて。おつて

まふびら

おつて

おつて

おつて

おつて

おつて

おつて

おつて

おつて

おつて

おつて

おつて

おつて

おつて

おつて

おつて

おつて

おつて

この世し、ちんのおまうごんよ。まてまともとてその中よ。ツイ茶
碗の上へ^{こち}持りて。ちんをよ打りわしとわんでおまうごんやまをう。お
小ぞうさなぐ。コロマア由原共さるの由結茶の茶碗を破て。
ま候が移へ。こても生ていおしは移へて。注^{あまご}失しるさる。ツいち
もまう。ちんをよおせ候よ。移つと入面目以升も移へ。おち
こよ^ま形づあらさまやせぬ。いのまのゆ。ちんでのけやせ。
あうとも。まを移へまらめやう。山の中で身と^{うが}投る川ハ
あし。首と^か保るハ^く傍よがまれば。コトもいふ。おちこが

まんだらよま^うまが^うあつて。うまてまぬといふことを。おのまやの
こと。あつてあつてあ入。お小候とあう。その中まんだらと
うのてん中と。ごあもまあやせぬ。コトヤウひやうが
こち移へうご。カリとらひてまぬであらうと。ツイこち
うのてまちん中と。因果の注ぐま。あつたや死やせぬ
ので。まよひが^まあうごんやせぬ。アトコトがとどろて。やくく
ま^まくま^{ちやま}を^{のち}持るもるん。まはよ。まんだらとを
うまらひあつて。はむうく。あが。まよとんがま



霍尾山

松尾寺

蒙師

乞
の
子

松
尾

る
れ
る

し
ん

と
ち

ま
さ

聖
場

信
松
本

天
の
尾

知
在

千の矢やさねとあり 志きする 雨

こいのがら 千の矢さねとあり 志きする 雨

をきとらり小岩こいわ嶽たけとらり今いまらる。此こゝ西にしらひあり。小岩こいわ山やま嶽たけ

何なに某のまらもあ。塚つちかみ跡あとありとまきけを

塚つちかみあつと今いまら 志こゝろきする 草くさ大おほ根ね

そのとれくのこや 志こゝろきする 草くさ大おほ根ね

かくて雨あめもやとせむ。胡こ波なみとらる。府ふふありけつ。ゆ

あど。此こゝあつとまきと山やまの林はやしをあり。此こゝ坂さか落おちるどあつと

せとやのあつとところくまへん。目めがあらんや。ちとるど小こ孫まご

を孫まごづしとく。イヤアい孫まごくくありとらる。子こ孫まごづり。ア

いづれとらる。山やまあき。刀やいば作つくの作つく併ひくする。イヤいむらひの

岩いわの間まらう。雛ひな子ごが。一ひとねるがまきとらる。こゝるせ。此こゝのてらり。

晩ばんの泊とまりを若わかてとらる。イヤい孫まごづり。アあまきとらる。あそ

とひひらう。ふハふあき。此こゝのてらる。川かわへを。あおまねの。

コこヤやく。あの子こ。向むかひの雛ひな子ごと。此こゝのてらる。道みちは。後あととハは文ぶん

やうらうら。此こゝのてらる。此こゝのてらる。此こゝのてらる。此こゝのてらる。

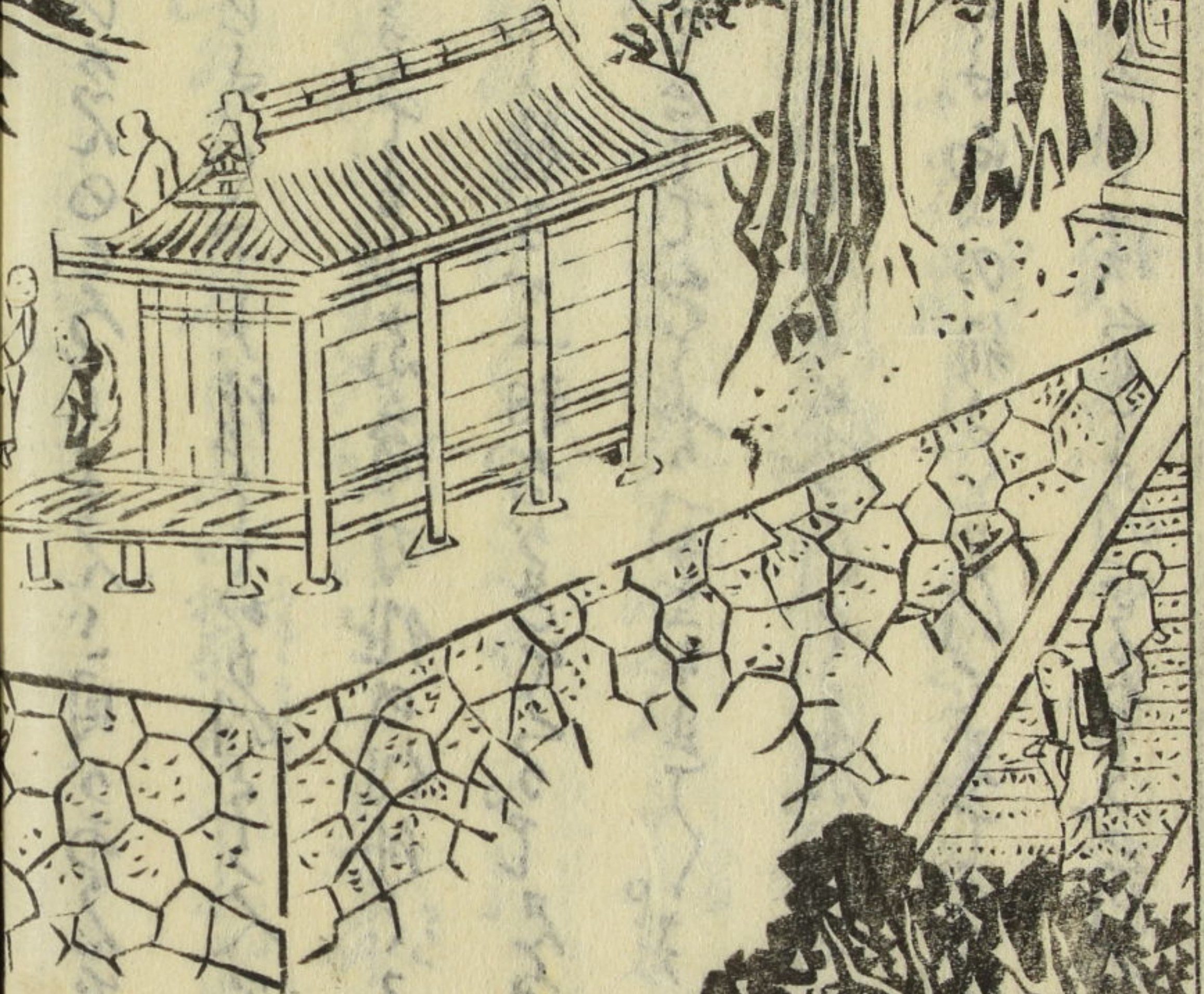
信成相
 五頁ふさた

の山
 の
 明王
 の
 糸細の
 糸細の



宮塔
 不動

杉ハ
 杉ハ



おのゝころからいんまのしんせいのまじりてふとてすのびいんまの
ついでまじりてふとてすのびいんまの 男 くさ けい

あせものもくろくはやくいへていへるがうらやまのうらやま

まのいんまのうらやまのうらやまのうらやまのうらやまのうらやま

いんまのうらやまのうらやまのうらやまのうらやまのうらやま

いんまのうらやまのうらやまのうらやまのうらやまのうらやま

いんまのうらやまのうらやまのうらやまのうらやまのうらやま

いんまのうらやまのうらやまのうらやまのうらやまのうらやま

いんまのうらやまのうらやまのうらやまのうらやまのうらやま

いんまのうらやまのうらやまのうらやまのうらやまのうらやま

いんまのうらやまのうらやまのうらやまのうらやまのうらやま

いんまのうらやまのうらやまのうらやまのうらやまのうらやま

いんまのうらやまのうらやまのうらやまのうらやまのうらやま

いんまのうらやまのうらやまのうらやまのうらやまのうらやま

いんまのうらやまのうらやまのうらやまのうらやまのうらやま

いんまのうらやまのうらやまのうらやまのうらやまのうらやま

いんまのうらやまのうらやまのうらやまのうらやまのうらやま

こまや かくとぶん。まろとど せくし
そまより吉原村 霍尾山 松尾寺の女あはしりる。
けやら。皇極天皇の後流 齋宮 伊勢守 白鳳二年
の官其のよし。出雲の庄屋殿いし 伊勢守 ありて 皇極を
さして ありひやうとせられむ

夢一 抄子より 女あはしりる ありがごとし

人をまきくハせあふ ちうひら

かくてまかして巡行して。出雲のあより。並松の間を
ゆく。まきくハせあふ。ちうひらよりまきくハせあふ。ちうひら
まきくハせあふ。ちうひらよりまきくハせあふ。ちうひら

いかに 出敷の上より 石佛と安んじらる。雨ありまきくハせあふ。
石佛の門あり。まきくハせあふ。ちうひらよりまきくハせあふ。ちうひら
はあふせせ。まきくハせあふ。ちうひらよりまきくハせあふ。ちうひら
あふのがまきくハせあふ。ちうひらよりまきくハせあふ。ちうひら
出敷の入りまきくハせあふ。ちうひらよりまきくハせあふ。ちうひら
あふのまきくハせあふ。ちうひらよりまきくハせあふ。ちうひら
よりあふより。時よりの雜物をまきくハせあふ。ちうひらよりまきくハせあふ。ちうひら
まきくハせあふ。ちうひらよりまきくハせあふ。ちうひらよりまきくハせあふ。ちうひら

いよいよ
かかせませむぐ。ごももとんぐ。かひていりまきうしん^{はげ}に多入

かひてまゝむるわら。ごこよあうやむ^{ごこよ}アごこよあむぐア。

むんをあむん。せんらんごこよあるむぐア^{たか}ひらまがまきあや。

山へかひていろせへて。ごこよあういせと。戸^{よま}扱へども。あう^{昨日}

あうまのせつら。ア^{あま}ぶあどとくせんちとりのけ。うらぐア

扱へまて^{たか}アせんちのあうら。うア^{ごこよ}南^{ごこよ}あのおのまうらうと

あうらういよ。せこちのまきんあうらうまで。脊^せ戸^せはあつこよ。やひ

たうあるむぐア^{はげ}アあうらうらうらうらうやせう。チト^{はげ}はめん

かかせ入 ト^{ごこよ}のいん^{ごこよ}まきんあうせうらうらうのむらう戸とあけてまう。

あうらういよ。せこちのまきんあうらうまで。脊^せ戸^せはあつこよ。やひ

たうあるむぐア^{はげ}アあうらうらうらうらうやせう。チト^{はげ}はめん

かかせ入 ト^{ごこよ}のいん^{ごこよ}まきんあうせうらうらうのむらう戸とあけてまう。

あうらういよ。せこちのまきんあうらうまで。脊^せ戸^せはあつこよ。やひ

たうあるむぐア^{はげ}アあうらうらうらうらうやせう。チト^{はげ}はめん

かかせ入 ト^{ごこよ}のいん^{ごこよ}まきんあうせうらうらうのむらう戸とあけてまう。

あうらういよ。せこちのまきんあうらうまで。脊^せ戸^せはあつこよ。やひ

たうあるむぐア^{はげ}アあうらうらうらうらうやせう。チト^{はげ}はめん

高瀬川

高瀬川

あまのついで

山くま

あま

丹波の寺

あま

文庫のあま

代田の町

あま



あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

高瀬川
式



えんら えん 海 うみ の の 名 な 録 ろく 一 いち 冊 さつ 石 いし 新 しん 書 しょ

あのまへにやうとみやしらのやば

あまじろう。比田の宿は生るる處と。六く守福とてい

ゆくよ。激しあふよは出るとおしえて。あづるく比

田の町はくらう。いまは日へるるれども。あづる大町宿まで

よやぶのるはくまくまう。はよは宿とてあんとて。あ

よやぶのるはくまくまう。はよは宿とてあんとて。あ

今あぶらご。あめこや入祿のハイあふや中せまご

ちんく。田はなれのちんくあて。あやうま。か

そまじよなはあづる。あづるく。あづるく。あづるく

よやぶのるはくまくまう。はよは宿とてあんとて。あ

ごう。あまやませむ。コヤ。仲をおとる。掃とあ

せる。湯でもあでむ。あづるく。あづるく。あづるく

あづるく。あづるく。あづるく。あづるく。あづるく

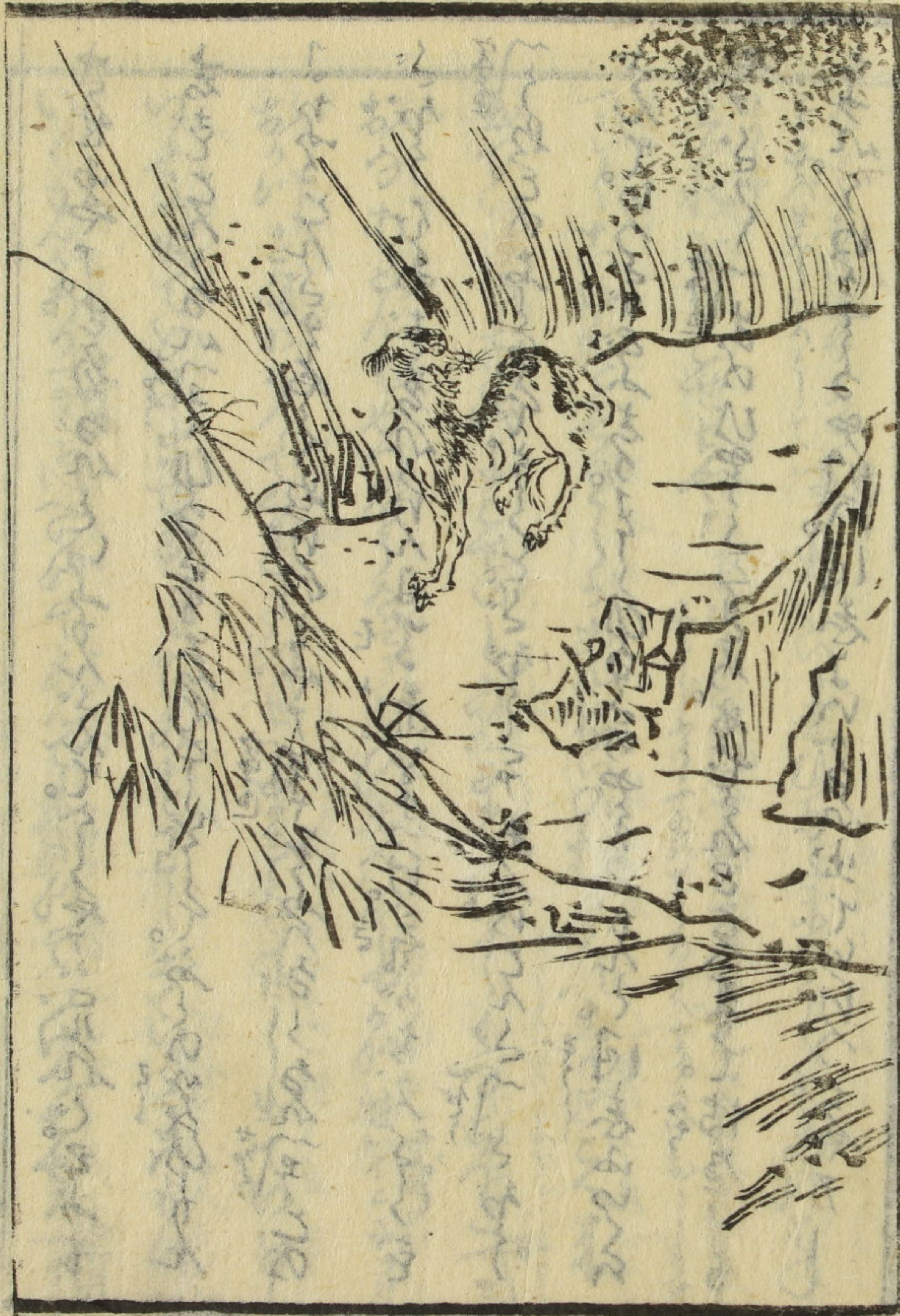
あづるく。あづるく。あづるく。あづるく。あづるく

コヤ。あまやませむ。コヤ。仲をおとる。掃とあ

まことよ。ねのてあはせまじく
あやぢ しつゝとめだのうまきけいふ。
 うぬこのまぢみてもりもさつア
母 ちまきでよかるむ。ん
 いてきさんあやぢ けあひくかなよよしくら
 目して。もが冬ふゆをであく
 け合ど冬くご水みづのてむらふるむ。
 かりくアせい生せいちまきう
 ちの毛ととの入ちもまじりトレく
ハッちがきあやうわげやせう。
まぢ ちの地ちに眉毛まゆげとをけしうぬ
 なくしてまきう
まぢ けんごぶまきうくるめ
 けいこでかろうけいご
 とけで。まね毛まねと同の
 下もほろしすまぬまぢそふ
 であがりア。

おじがオウにもハ
 ころう同のうへよおきう
 こまじりもいゆるくらくら
 によろろまんぢやア
 がひよあまひでまぢ
 らアまじりツマでけ
 ンレクアおせよまぢく出
 むとア右の眉まゆの
 ままでけいがひごうの
 肩かたいぞうかきや
 せう。まろうちんた
 ぶやうた。んろくと
 むるうろ
あやぢ けいばるア。ちまじり
 こまきるの人あんま
 とまぢらアて先生せんせい
 さる。ツ
 ぶくあがうちまき
あやぢ せんアヤコまはぶ
 ぶはぶのううともか
 むて
あやぢ きさんまぢ
 ちう入るううまね
 毛うけで。ひまぢ
 ちん生まぢ
あやぢ らうよ。ままぢ
 ねてまままつてま
 ちうまぢ
 ちんまぢ
 ちんまぢ
 ちんまぢ
 ちんまぢ





このまじりやいふはあはれなるにや ナカヨ

あはれなるにや ナカヨ

あはれなるにや ナカヨ

あはれなるにや ナカヨ

あはれなるにや ナカヨ

あはれなるにや ナカヨ

あはれなるにや ナカヨ

あはれなるにや ナカヨ

あはれなるにや ナカヨ

あはれなるにや ナカヨ

ゆいなきぐり。或村よそうけくもあきて。子どもすすぶまゆ。成
あむら しまん
 の若老も大成ん。とめんもちてけりまると。ゆいもさうんと。とち
こいん あ まもん
 むまやとあつらうち。改よりまゝ強人ふの人は向ひて^{強人}しりく
 ちんあゝの^{強人}やほためがふくそくひけくので^{強人}きんら
強くまよ
 引病らぬる。ソッキマツの^{強人}くうの^{強人}病^{強人}あまの^{強人}後入^{強人}ごと。
 コリヤめり^{強人}よさ^{強人}け^{強人}ない^{強人}進^{強人}後^{強人}へ^{強人}ぞ。ト^{強人}は^{強人}内^{強人}又^{強人}あ^{強人}あ^{強人}め^{強人}の^{強人}引^{強人}や^{強人}ま^{強人}ま^{強人}ま^{強人}き^{強人}
強人
 ワライ、^{強人}ア^{強人}ア^{強人}あ^{強人}あ^{強人}の^{強人}と^{強人}もある。モ^{強人}と^{強人}あ^{強人}ま^{強人}な^{強人}ま^{強人}も^{強人}性^{強人}も^{強人}と^{強人}ん^{強人}ま^{強人}る
 とこを本へあとのむらんせ。ア^{強人}く^{強人}ま^{強人}つ^{強人}の^{強人}ち^{強人}や^{強人}へ^{強人}ま^{強人}あ^{強人}り^{強人}も^{強人}あ^{強人}り^{強人}ト

強人
 引病らぬる。ソッキマツのくうの病あまの^{強人}後入^{強人}ごと。
強人
 ワライ、アアああ^{強人}の^{強人}と^{強人}もある。モとあまな^{強人}ま^{強人}も^{強人}性^{強人}も^{強人}と^{強人}ん^{強人}ま^{強人}る
 とこを本へあとのむらんせ。アくまつのちやへまありもありト
強人
 コリヤめりよさけない進後へぞ。トは内又ああめの引やままき
強人
 ワライ、アアああ^{強人}の^{強人}と^{強人}もある。モとあまなまも性もとんまる
 とこを本へあとのむらんせ。アくまつ^{強人}の^{強人}ち^{強人}や^{強人}へ^{強人}ま^{強人}あ^{強人}り^{強人}も^{強人}あ^{強人}り^{強人}ト
強人
 引病らぬる。ソッキマツのくうの病あまの^{強人}後入^{強人}ごと。
強人
 ワライ、アアああ^{強人}の^{強人}と^{強人}もある。モとあまなまも性もとんまる
 とこを本へあとのむらんせ。アくまつ^{強人}の^{強人}ち^{強人}や^{強人}へ^{強人}ま^{強人}あ^{強人}り^{強人}も^{強人}あ^{強人}り^{強人}ト
強人
 コリヤめりよさけない進後へぞ。トは内又ああめの引やままき
強人
 ワライ、アアああ^{強人}の^{強人}と^{強人}もある。モとあまなまも性もとんまる
 とこを本へあとのむらんせ。アくまつ^{強人}の^{強人}ち^{強人}や^{強人}へ^{強人}ま^{強人}あ^{強人}り^{強人}も^{強人}あ^{強人}り^{強人}ト

手むんらう日せら読人「あゝのあゝあゝんー」中「きさきさかえん見
かち
まことそそ本へのあつらへ。おしつちで。あんちあゝあゝせと
はげ ひざがーら
「あまとも徳政とまらむねと。はやろもあゝのころーとやろ
讀人「ハア、おめんさるん。ドレ、あまねいふふんろト あゝともえぞーと
あゝともえぞーと
ゆいあゝもそれより大町のあゝも
いろうこふあゝもよくやまうひり。

浪本岩波 続徳西本毛八編 下巻終

